

「若手研究者問題」シンポジウム2017

歴史学の担い手をいかに育て支えるか

～日本歴史学協会「若手研究者問題」アンケート調査中間報告から～

歴史学の担い手を育て支える環境は、現在、どのような課題を抱えているのだろうか。そして、歴史学を専攻する「若手研究者」はどのような問題に直面しているのだろうか。本シンポジウムは、日本歴史学協会「若手研究者問題」アンケート調査中間報告書を題材に、これらの問題を討論する場を提供するものである。歴史学に携わる様々な立場の方々の積極的な参加と討論をお願いしたい。
～趣旨文より～

日時:2017年3月4日(土) 13時～

会場:駒澤大学駒沢キャンパス1号館204教場

事前申込不要・参加費無料

【開会の辞】 小沢弘明（若手研究者問題検討委員会委員長・日本学術会議連携会員）

【趣旨説明】 瀬畑 源（若手研究者問題検討委員会委員）

【報告】

1. 日本歴史学協会ウェブ・アンケート中間報告
——日歴協若手研究者問題検討委員会より—— 浅田進史（駒澤大学）
2. 学部・大学院教育の現在——国立大学の事例から—— 山田 賢（千葉大学）
3. 若手研究者問題は若手研究者問題か？
——「大学改革」の30年と失われた未来、そして奪還への遠い道のり——
橋本伸也（関西学院大学）

【コメント】

1. 日本学術会議から 高埜利彦（学習院大学・日本学術会議会員）
2. 西洋史若手研究者問題検討WGから 松本 涼（福井県立大学）

【討論】

【閉会の辞】 木村茂光（日本歴史学協会会長・日本学術会議連携会員）

主催：日本歴史学協会・歴史学研究会・東京歴史科学研究会・歴史教育者協議会・歴史科学協議会・九州西洋史学会・日本史研究会・西洋史研究会・同時代史学会・東北史学会・東北大学国史談話会

協力：総合女性史学会・内陸アジア史学会・広島史学研究会・信濃史学会・ジェンダー史学会・西洋近現代史研究会・現代史研究会・地方史研究協議会

問い合わせ先

日本歴史学協会若手研究者問題検討委員会 浅田進史

shasada[a]komazawa-u.ac.jp

※問い合わせの際には、[a]を@に置き換えてご連絡ください。

<https://sites.google.com/site/jhcwebsurvey/>

